

## 弘前大学医学部附属病院で診療を受けられる皆様へ

本院では、下記の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用されることを希望されない患者さんもしくは患者さんの代理人の方は、下記の連絡先までお申し出ください。

1. 研究課題名	透析導入となった糖尿病患者の特徴と予後			
2. 対象患者	2015年1月から2019年9月の間に当科から鷹揚郷弘前病院に紹介し透析導入となった患者様			
3. 対象となる期間	2015年1月1日 ~2019年9月30日			
4. 実施診療科等	内分泌内科、糖尿病代謝内科			
5. 研究責任者	氏名	佐藤 江里	所属	総合地域医療推進学講座
6. 共同研究機関 (共同研究機関研究責任)	ありません			
7. 研究の意義	透析導入の原因として様々な腎疾患があり、慢性糸球体腎炎、腎硬化症、多発性腎のう胞などがあります。糖尿病も透析導入の原因となり、2011年から現在までは糖尿病が透析導入の原因の第一位であり、増加傾向です。糖尿病も合併症である糖尿病腎症も、多くの場合は自覚症状がないため、気づいていなかったり、放置していたり、治療を中断してしまっている場合もあります。適切な治療を早く始めて継続することができれば、腎症の進行は予防できます。			
8. 研究の目的	透析導入となった糖尿病患者様の糖尿病診断のきっかけ、治療開始後の経過、合併症、透析導入後の経過を調べることで、その特徴を調査します。			
9. 研究の方法 (使用・提供する資料等および外部に提供する場合は方法等)	2015年1月から2019年9月までの間に内分泌内科、糖尿病代謝内科から透析可能な病院に紹介し、その後透析導入となった患者様の、糖尿病治療経過、動脈硬化性疾患や足病変を含めた合併症、透析導入までの期間についてカルテ調査を行い、透析導入後の経過について鷹揚郷弘前病院からカルテ情報を提供していただきます。			
10. 個人情報の保護	研究結果を学会報告等に用いますが、患者さん自身の個人情報は全て匿名化して管理致します。報告にあたっては名前や個人を識別する情報は一切使用致しません。患者さんより拒否の申し出があった場合は研究対象から除外しデータを削除致します。ただし、既に匿名化のうえ解析済みの場合や研究結果公表済みの場合はデータを修正することは出来ませんのでご了承願います。			
11. 利益相反に関する状況	とくにありません。			
12. 連絡先	弘前大学大学院医学研究科 総合地域医療推進学 助教 佐藤 江里			
	電話	0172 - 39 - 5062	FAX	0172 - 39 - 5063